

雜  
錄

日本に於ける生祠設立の年時と其分布

文學博士 加藤 玄 智

一時は日本研究の内外の學者から、日本には、生前から人を神に祭つた社即ち生祠は無いと能く云はれたのを耳にしたが、此の十數年來私が實地調査をした結果として、全くその反對の事實が分かつた、今年代を尋ねるに、先づその存在の餘程確からしいことを信じ得るものでは、菅原道真と同時代の人である松木春彦神主の生祠が伊勢に在るし、ずつと新しい所では、昭和六年の八月に北海道日高國浦河町に出來た西忠義氏の生祠がある、然し日本の生祠の黄金時代とでも呼ぶ可き時代は、何と云つても徳川幕府の創立以後であると思ふ、又その分布から云へば西南の九州から、東北は北海道に迄及んでをる、

今斯る生祠の建てられた年代が何年と判定し得らるゝもの及び別立の生祠と迄行かないにしても、某神社の拜殿を假りて、生前から人を生祀したものや、一個人の邸内神殿に奉祀のものなど迄入れれば、その數は頗る多きに上るのである、今その年代の判定し得るものから、十分にはその判定は附かぬも、生前から奉祀されたことは疑を容れぬものを、先づ第一に年代から見ても左に列舉し、次ぎに之れを地方別にしした所を一瞥して見よう、尙その詳細は拙著「本邦生祠の研究」に譲ることとする。

第一 年代の判明せるもの若くは略判明せるもの

- |              |             |                                   |             |
|--------------|-------------|-----------------------------------|-------------|
| (一) 松木春彦大人   | 延長元年(九二二)   | (三) 金井繁之丞大人                       | 天明七年(七八七)   |
| (二) 山崎闇齋大人   | 寛文十一年(一六七一) | (四) 松平定信樂翁公 <small>(奥州白河)</small> | 寛政九年(一七九七)  |
| (三) 前田綱紀公    | 延寶元年(一六七三)  | (五) 齋藤芝山大人                        | 享和元年(一八〇一)  |
| (四) 松平信之公    | 延寶四年(一六七六)  | (六) 前田治脩公                         | 享和二年(一八〇二)  |
| (五) 櫻井政能大人   | 元祿九年(一六九六)  | (七) 廣島國主祭 <small>(國主祭)</small>    | 文化三年(一八〇六)  |
| (六) 名迫伊光大人   | 享保九年(一七二四)  | (八) 岡田寒泉大人                        | 文化七年(一八一〇)  |
| (七) 中橋久左衛門大人 | 享保十三年(一七二八) | (九) 松平定信樂翁公 <small>(江戶幕府)</small> | 文化十四年(一八一七) |
| (八) 平山角左衛門大人 | 寛保二年(一七四二)  | (一〇) 小島蕉園大人                       | 文政元年(一八一八)  |
| (九) 依田安清大人   | 延享四年(一七四七)  | (一一) 佐藤半太大人                       | 文政二年(一八一九)  |
| (一〇) 深川猷榮大人  | 寶曆六年(一七五六)  | (一二) 徳川齊匡公                        | 文政三年(一八二〇)  |
| (一一) 細川重賢公   | 寶曆七年(一七五七)  | (一三) 石川忠房大人                       | 文政三年(一八二〇)  |
| (一二) 名迫行雄大人  | 天明五年(一七八五)  | (一四) 雲室上人                         | 文政六年(一八二三)  |

- (三五) 谷 君雄大人 文政十一年(一八二八)
- (三六) 鈴木重榮大人 天保八年(一八三七)
- (三七) 江川坦庵大人 天保十年(一八三九)
- (三八) 森忠左衛門大人 弘化二年(一八四五)
- (三九) 秋里五右衛門大人 弘化三年(一八四六)
- (四〇) 田 神 生 祠 嘉永三年(一八五〇)
- (四一) 酒井忠器、忠發二公 嘉永七年(安政元年)(一八五四)
- (四二) 秋 元 志 朝 公 安政四年(一八五七)
- (四三) 吉田庄太夫大人 安政四年(一八五七)
- (四四) 内田公胤大人 安政四年(一八五七)
- (四五) 稻玉徳兵衛大人 文久元年(一八六一)
- (四六) 枝權兵衛及び小山良左衛門二大人 明治二年(一八六九)
- (四七) 鈴木準道、徳山明定二大人と松平茂昭公 明治二年(一八六九)
- (四八) 松 岡 萬 大人(通稱母) 明治四年(一八七一)
- (四九) 松平慶永春嶽公 明治七年(一八七四)
- (五〇) 明治天皇御生祀 明治九年(一八七六)
- (五一) 明治天皇御生祠 明治九年(一八七六)
- (五二) 岩 倉 具 視 公 明治九年(一八七六)
- (五三) 松 岡 萬 大人(池田醫社) 明治九年(一八七六)
- (五四) 重森六藏大人夫妻 明治十三年(一八八〇)
- (五五) 林田守隆大人 明治十四年(一八八一)
- (五六) 畠山久左衛門大人 明治十六年(一八八三)
- (五七) 明治昭憲兩陛下 明治二十年(一八八七)
- (五八) 小田切謙明大人 明治二十一年(一八八八)
- (五九) 明 治 天 皇 明治二十六年(一八九三)
- (六〇) 明 治 天 皇 明治二十九年(一八九六)
- (六一) 明 治 天 皇 明治三十七年(一九〇四)
- (六二) 明治昭憲兩陛下 明治三十七年(一九〇四)
- (六三) ダンクウエルツ大人 明治三十九年(一九〇六)
- (六四) 藤 波 言 忠 公 明治四十一年(一九〇八)
- (六五) 石川理紀之助大人 明治四十三年(一九一〇)
- (六六) 大 正 天 皇 明治四十四年(一九一〇)
- (六七) 皇太后陛下 大正二年(一九一七)
- (六八) 國頭第三郎大人夫妻 大正七年(一九一八)
- (六九) 松 方 正 義 公 大正八年(一九一九)
- (七〇) 攝 政 殿 下(上陸、義経山神社) 大正十二年(一九二三)
- (七一) 松本源祐大人 大正十二年(一九二三)
- (七二) 岡田忠彦大人 大正十三年(一九二四)
- (七三) 秩父宮殿下 大正十三年(一九二四)
- (七四) 高松宮殿下 大正十三年(一九二四)
- (七五) 東郷平八郎大將 大正十五年(一九二六)
- (七六) 丹羽五郎大人 昭和二年(一九二七)
- (七七) 今上皇后兩陛下 昭和三年(一九二八)
- (七八) 西 忠 義 大人 昭和六年(一九三一)

日本に於ける生祠設立の年時と其分布 (加藤)

第二 年代の考定し易からざるもの

- (一) 安藤 朴翁大人 (寛永 四年一六二七—元祿十五年一七〇二)
- (二) 鶴飼左十郎大人 (在職) 明和 三年一七六六—安永 二年一七七三
- (三) 岡井東庵大人義齋明神 (享保 三年一七一八—天明 六年一七八六)
- (四) 鍋島直茂公 (萬治 二年一六五九—享保 四年一七一九)
- (五) 和田伴兵衛大人 (享保 十三年一七二八—文化十一年一八一四)
- (六) 平賀源内大人 (享保 十四年一七二九—安永 九年一七八〇)
- (七) 槽岡宥覺大人 (元文 元年一七三六—文化十四年一八一七)
- (八) 中村與三右衛門大人 (寛保 三年一七四三—文化 七年一八一〇)
- (九) 白井重光大人 (寶曆 三年一七五三—文化 九年一八一二)
- (一〇) 小出大助大人 (寛保 三年一七四三—文政 二年一八一九)
- (一一) 荒井顯道大人 (文化十一年一八一四—文久 二年一八六二)
- (一二) 三田尻殿様祭 (弘化年中、一八四四—一八四七)
- (一三) 駒木根八兵衛明神 (徳川時代初期?)
- (一四) 信州諏訪神社の大祝と伊豫三島神社の牛大明神
- (一五) 徳山明定大人 (文政 三年一八二〇—明治十八年一八八五)
- (一六) 濱口梧陵大人 (生祠建設計劃)
- (一七) 乃木希典將軍 (嘉永 二年一八四九—大正 元年一九一二)
- (一八) 小野田元照大人 (明治二十五年一八九二—明治三十一年一八九八)
- (一九) 金原明善大人 (明治二十五年一八九二—明治三十一年一八九八)
- (二〇) 出雲國造(千家氏) (太古より明治初年頃迄?) (三) 金光陣 (教祖より現今に至る)

### 第三 本邦の生祠及び生神奉祀の分布

- |                    |               |                   |               |
|--------------------|---------------|-------------------|---------------|
| (一) 明治天皇御生祠        | 宮城縣石巻港        | (二) 中橋久左衛門大人生祠    | 石川縣羽咋郡中邑知村    |
| (二) 明治昭憲兩陛下御生祠     | 廣島縣廣島市草津町     | (三) 平山角左衛門大人生祠    | 廣島縣尾道市        |
| (三) 明治天皇御生祠(明治宮)   | 長野縣上伊那郡小野村    | (四) 深川猷榮大人生祠      | 千葉縣君津郡吉野村     |
| (四) 明治天皇御生祀の邸内神殿   | 廣島縣廣島市榎町(廣瀬町) | (五) 細川重賢公生祀(殿様祭)  | 熊本縣熊本市        |
| (五) 明治天皇御生祀の邸内神殿   | 兵庫縣姫路市同心町     | (六) 金井繁之丞大人生祠     | 栃木縣足利市外三和村    |
| (六) 明治昭憲兩陛下御生祀の御眞  | 富山縣泊町         | (七) 松平定信公生祠       | 福島縣白河町        |
| (七) 明治天皇御生祀        | 宮城縣宮城郡多賀城村    | (八) 齊藤芝山大人生祀      | 熊本縣高橋町        |
| (八) 大正天皇御生祀        | 北海道日高國門別村     | (九) 松平定信公生祠       | 三重縣桑名町        |
| (九) 攝政殿下(今上陛下)御生祠  | 北海道中川郡本別村     | (一〇) 松平定信公生祠      | 東京府東京市築地(舊江都) |
| (一〇) 今上皇后兩陛下御生祀    | 廣島縣廣島市廣瀬町     | (一一) 前田治脩公生祠      | 富山縣下新川郡愛本新村   |
| (一一) 皇太后陛下御生祀      | 廣島縣廣島市廣瀬町     | (一二) 岡田寒泉大人生祠     | 茨城縣筑波郡下小目村    |
| (一二) 秩父宮殿下御生祀      | 兵庫縣姫路市同心町     | (一三) 小島蕉園大人生祠     | 山梨縣東山梨郡日川村    |
| (一三) 高松宮殿下御生祀      | 兵庫縣姫路市同心町     | (一四) 佐藤華太、大根田猪右衛門 | 滋賀縣彦根町在神照村字今  |
| (一四) 東郷平八郎大將生祀     | 兵庫縣姫路市同心町     | (一五) 石川忠房大人生祠     | 群馬縣安中町        |
| (一五) 松木春彦大人生祠      | 三重縣宇治山田市      | (一六) 雲室上入生祠碑      | 埼玉縣上尾町        |
| (一六) 山崎闇齋大人生祠      | 京都府京都市下御靈     | (一七) 谷君雄大人生祠      | 茨城縣結城郡江川村     |
| (一七) 前田綱紀公生祠       | 石川縣河北郡鴻端新村    | (一八) 鈴木重榮大人生祠     | 福井縣福井市        |
| (一八) 松平信之公生祀       | 兵庫縣明石町林崎村     | (一九) 江川坦庵大人生祀     | 山梨縣南都留郡谷村     |
| (一九) 櫻井政能大人生祠      | 山梨縣西山梨郡玉諸村南庄  | (二〇) 森忠左衛門大人生祠    | 長野縣更科郡更科村     |
| (二〇) 名迫伊光及び行雄二大人生祠 | 和歌山縣伊都郡富貴村    | (二一) 秋里五右衛門大人生祀   | 長野縣埴科郡倉科村     |

日本に於ける生祠設立の年時と其分布(加藤)

- (四) 田 神 生 祠
- (四) 秋元志朝公生祠
- (四) 吉田庄太夫大人生祠
- (四) 稻玉徳兵衛大人生祠
- (四) 枝權兵衛及び小山良左衛門大人生祠
- (四) 鈴木準道徳山明定二大人生祠
- (四) 松平茂昭公生祠
- (四) 松平慶永公生祠
- (四) 岩倉具視公生祠
- (四) 松岡萬大人生祠
- (四) 松岡萬大人生祠
- (五) 林田守隆大人生祠
- (五) 重森六藏大夫妻生祠
- (五) 畠山久左衛門大人生祠
- (五) ダンクウェルツ大人生祠
- (五) 石川理紀之助大人生祠
- (五) 國頭第三郎大夫妻生祠
- (五) 松方正義公生祠
- (五) 松本源祐大人生祠
- (五) 岡田忠彦大人生祠
- (六) 三田尻殿様祭
- (六) 廣島國主祭(國主棚)
- (六) 鍋島直茂公生祀
- 秋田縣仙北郡飯詰村
- 群馬縣邑樂郡赤羽村
- 和歌山縣奥熊野
- 長野縣坂城村平澤
- 石川縣鶴來町在河内村九重塔
- 福井縣今立郡北新庄村
- 福井縣坂井郡三國町
- 宮城縣増田町
- 静岡縣磐田郡於保村
- 静岡縣岡部町廻澤
- 福岡縣田主丸町
- 廣島縣上下町
- 秋田縣六郷町
- 東京府東京市本所區向島
- 秋田縣南秋田郡豐川村
- 廣島縣芦品郡福相村
- 大分縣日田町
- 石川縣能美郡尾添村
- 埼玉縣川口町
- 山口縣佐波郡三田尻
- 廣島縣廣島市
- 佐賀縣佐賀市
- (六三) 安藤朴翁大人生祠
- (六四) 平賀源内大人生祠
- (六五) 檜岡有覺大人生祠
- (六六) 中村與三右衛門大人生祠
- (六七) 小田大助大人生祠
- (六八) 駒木根八兵衛大人生祠
- (六九) 信州諏訪神社の大祝生祀
- (七〇) 伊豫三島神社の擬神體半大明神
- (七一) 金光大陣生祀
- (七二) 出雲國造(千家氏)生祀
- (七三) 乃木希典將軍生祀
- (七四) 徳川齊匡公生祀
- (七五) 依田安清大人生祠
- (七六) 酒井忠器忠發二公生祠
- (七七) 藤波言忠公生祠
- (七八) 岡井東庵大人生祠
- (七九) 和田伴兵衛大人生祠
- (八〇) 荒井顯道大人生祠
- (八一) 小田切謙明大人生祠
- (八二) 内田公龍大人生祀
- (八三) 徳山明定大人生祠
- (八四) 鶴飼左十郎大人生祠
- 京都府京都市右京區水尾(舊丹波國)
- 廣島縣納町
- 秋田縣仙北郡北檜岡町
- 三重縣伊賀をこえはせ(阿保越波瀬?)
- 栃木縣上都賀郡北押原村
- 和歌山縣西牟婁郡瀬戸鉛山村瀬戸浦
- 長野縣諏訪上下諏訪町
- 愛媛縣宇摩郡三島町
- 岡山縣金光町
- 島根縣大社町
- 愛知縣愛知郡豊明村
- 山梨縣東八代郡豊富村
- 山梨縣西八代郡高田村
- 山形縣西田川郡西郷村
- 北海道浦河郡浦河町西舍村
- 大阪府豊能郡刀禰山村
- 山形縣西田川郡上郷村
- 山梨縣西八代郡高田村
- 山梨縣甲府市櫻町
- 新潟縣佐渡國相川町在青盤坑
- 福井縣今立郡片上村吉谷
- 栃木縣上都賀郡南押原村



日本に於ける生祠設立の年時と其分布 (加藤)

山梨縣	六	一	七	六	香川縣	一	一	一	一
静岡縣	一	一	一	二	愛媛縣	一	一	一	一
愛知縣	一	一*	一	一*	德島縣	一	一	一	一
滋賀縣	一	一	一	一	高知縣	一	一	一	一
京都府	一△	一	二	一△	福岡縣	一	一	一	一
兵庫縣	一	四	五	一	佐賀縣	一	一	一	一
大阪府	一△	一	一	一△	長崎縣	一	一	一	一
三重縣	一△	一	三	一△*	大分縣	一	一	一	一
奈良縣	一	一	一	一	熊本縣	一	二	二	一
和歌山縣	二三△	一	五	二五△	宮崎縣	一	一	一	一
鳥取縣	一	一	一	一	鹿兒島縣	一	一	一	一
島根縣	一	一	一	一	沖繩縣	一	一	一	一
岡山縣	一	一	一	一	合計	八二	二三	一〇五	六四

註

- 一、生神数は生祀されたる神一柱を單位とす、例之三神を合祀せるものゝ生神数は之れを三柱と數ふるが如し。
- 一、生祠數は祠宇一個を單位とす。一、△記號は生祀當時は祠宇を有し若くは有せしが如きも、其後廢滅に歸せしもの。
- 一、\*記號は生祀當時は祠宇を有せず若くは有せざりしが如きも、其後之れを有するに至りしもの。
- 一、生祠數合計は△記號のものを含むも、\*記號のものを含まず。